

令和元年度 総会および第1回 CPD 研修会

1. はじめに

道南技術士委員会では、本年度も活発に活動を行っていくことを目標として、5月31日に年度始めの定期総会および第1回 CPD 研修会を開催しました。当日は北海道本部より飯野良枝事務局次長をお迎えし、参加者30名での開催となりました。

日時 2019年5月31日(金) 15:00～17:30

場所 函館コミュニティプラザ G スクエア
多目的ホール(シエスタハコダテ 4 階)

参加 30 名

2. 第1回 CPD 研修会

(1)技術発表1：奈良 哲夫 氏

(株)エジソンブレイン(建設部門)

演題：【文化的価値のある石垣整備とお城の見方】

専門キーワード

文化的価値、特別史跡、五稜郭跡、算木積、穴太衆積み、石垣復旧

奈良技術士は、ご自身が専門となされている石組み魚道の経験から、近年では城の石垣について興味を深く抱かれており、石垣に関する知見を深めておられます。今回の技術発表では、主に城郭の見方や石垣の種類・積み方について発表いただきました。



写真-1 奈良技術士

この道南地方には、有名な近代西洋城郭であり、道内唯一の特別史跡である五稜郭跡があり、五稜郭を例に具体的な城郭の構成や石垣の積み方について説明がありました。特別史跡とは文化財保護法で、「学術上の価値が特に高く、我が国の象徴たるもの」と規定されており、全国で62件しか指定されておられません。その中でも、城跡に関しては12件しかなく、非常に稀有な史跡であることがわかります。



図-1 特別史跡 五稜郭跡

また、石垣の積み方にも様々な種類があり、築造当時の時代背景や周辺環境、重要度により使い分けが行われていたことを知ることができました。

戦国・江戸時代では築城の土木工事は「城普請」と呼ばれていました。先人達の創意工夫が、現代の土木技術の基礎に通じていることを知ることができ、改めて土木の奥深さを知ることとなりました。

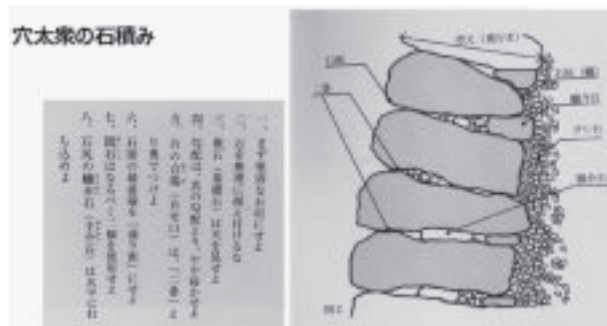


図-2 穴太衆の石積手法

(2)技術発表 2：布村 重樹 氏

ノース技研(株)(総監・上下水道・建設・森林部門)

演題：【函館湾岸価値創造プロジェクトの活動】

専門キーワード

GRHABIP (グラビップ)、開港都市、土木産業遺産、
嵯峨山、函館大火、フォトコンテスト

GRHABIP (グラビップ) とは、函館湾岸地域の地域遺産の価値について、多様な観点から捉え、価値の普及・啓発、観光振興への適用から価値創造・地域創生を図ることを目的とした、産学官から成るプロジェクトチームです。布村技術士は、この GRHABIP の代表として日頃から活動をなさされており、今回は函館がコンクリートの聖地である理由についてと、GRHABIP のこれまでの取組内容について発表いただきました。



写真-2 布村技術士

函館がコンクリートの聖地である理由については、①開港都市として海外の最新技術が早くから導入されたこと、②近郊に良質な石灰岩鉱山がありセメントを生産できたこと、③廣井勇が函館港改良工事の際にコンクリートの品質管理技術を確立させたことなどが挙げられます。

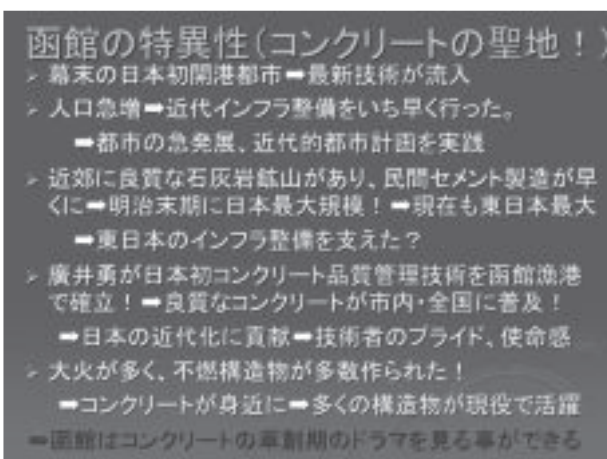


図-3 コンクリートの聖地・函館

また、函館市内では明治から大正にかけて、多くのコンクリート造の施設が整備されましたが、それらが現役として、いまなお利用されていることも聖地たる所以であることがわかりました。加えて、観光名所でもある函館山周辺の多くの坂は、函館大火の経験から防火対策として整備されたという経緯も知ることができました。

GRHABIP ではこれまでに、JTB バスツアーやコンクリート物語パネル展、フォトコンテストなどを企画し、これらの活動を通して一般市民の方々にコンクリート・土木遺産の魅力を伝えてこられました。さらに、去年はダムカードならぬコンクリート物語カードを作成・配布することで、より幅広い年齢層に魅力・価値を伝えておられます。

3. 令和元年度 道南技術士委員会総会

北海道本部より飯野良枝事務局次長が出席され、日本技術士会の活動状況が報告されました。

道南技術士委員会の布村代表からは、平成 30 年度の活動内容について活動報告誌「一步」を基に報告されました。また、同委員会の奈良幹事長からは、平成 30 年度決算報告と令和元年度事業計画及び予算計画が報告され、承認されました。



写真-3 飯野事務局次長

4. おわりに

道南技術士委員会では、近年研修会や技術講習会への若手技術者の参加数が増えており、これまでの取組の成果が出始めてきたと思っております。

今年度も多種多様な企画を立案・実施し、一層技術研鑽に励むことで、地方委員会の活性化および技術力向上に努めていきたいと思っております。